

編集後記

最後までお読み頂きありがとうございます。今月は、4年ぶりのトンネル特集でした。昨年から編集委員に加わり、トンネル特集の編集担当も引き継がせて頂いたのですが、本当に建設事業者および建機メーカーの方が編集するので驚きました。業界誌の編集はもちろん、トンネル施工機械はともかく、施工についてはほとんど素人でしたので、勉強しながら取り組ませて頂きました。おかげさまで、著者の方々にご協力頂き、発刊することが出来ました。巻頭言では、福井教授にご研究の業績とその伝承についてご寄稿頂きました。素晴らしい研究の業績も、需要や景気の変化に左右されてしまうことがあります。60年前は多くの大学に鉱山関係の学科がありましたが、多くの地下鉱山が閉山され、就職先が減少して厳しい状況と聞きます。清水三兄弟トンネルの記事にもありますように、初期のトンネル掘削には地下鉱山の鉱夫や資機材が貢献しました。若い頃、元鉱山技師の営業マンが、採掘前の原石山の骨材の良否を言い当てた伝説を聞いたことがあります。打撃振動に抗い、繰り粉を被りながらノミを切羽に自力で押し

込んだドリルマンは、感覚と経験により岩石と対話していたのかもしれませんが。一方、トンネル工学では多くの論文が発表され、安価で（または無料で）研究発表を傾聴できます。製造業ですと特許申請だけすることが多いですが、発表会では質疑応答まで行われていたので驚きました。自分達だけでなく、業界全体の改善にとって、素晴らしい取り組みだと思います。現在のトンネル施工を取り巻く環境は、労働者の高齢化と人材不足、コストの高騰や、大深度や既設物近傍への施工、環境への対応など、厳しさを増しています。省人化と高精度化には機械化が効果的と思われますが、自然の岩盤が相手なので、鉄に加工するのと勝手が違います。学术界、施工業者、機材業者、設計者および施工主が協力して、理論に基づく新工法を編み出し、現場で実証する必要があります。その意味で、本誌が施工および製造者により編集されるのは、良い取り組みだと思います。熱意ある人達の英知を集め、掘削や探査データが蓄積されていけば、いつか断層や水脈も探り当てるAI山師システムが出来るかもしれません。本誌が、その結節点になれば幸いです。

（京免・田島）

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
中岡 智信	渡邊 和夫
見波 潔	

編集委員長

中野 正則	日本ファブテック(株)
-------	-------------

編集委員

吉田 真人	国土交通省
大津 太郎	農林水産省
内海 友介	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
河原 圭司	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
藤井 攻	清水建設(株)
桐山 茂雄	(株)大林組
出口 明	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
松本 清志	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
平田 惣一	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
松澤 享	五洋建設(株)
那須野陽平	東亜建設工業(株)
佐藤 裕	日本国土開発(株)
丑久保吾郎	(株)NIPPO
室谷 泰輔	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン
花川 和吉	日立建機(株)
丹治 雅人	コベルコ建機(株)
漆戸 秀行	住友建機(株)
大竹 博文	(株)加藤製作所
田島 良一	古河ロックドリル(株)
鈴木 健之	施工技術総合研究所

事務局

（一社）日本建設機械施工協会

6月号「河川・ダム治水対策、維持管理、点検補修特集」予告

・「ハイブリッドダム」の取組 ・水局DXWGの取り組み等の事例紹介 ・川辺川の流水型ダムにおける環境影響評価の取り組み ・令和4年7月14日から大雨で活かされた過去の教訓 ・WECでの水質技術開発の取り組み ・ダム貯水池掘削・浚渫土の下流土砂還元や有効利用を促進するダム堆砂分級工法の開発 ・デジタルツイン建設工事監理における自動・自律UAVの活用事例 ・ダム工事の環境技術について ・アーチ式砂防堰堤コンクリート打設における創意工夫 ・堤防強化に貢献する「回転式破碎混合工法（ツイスター）」 ・シャフト式遠隔操縦水中作業機による硬岩掘削技術の開発 ・リアルタイム土砂・洪水氾濫予測モデルの紹介 ・水中施工無人化へ絶対位置を高精度取得 ・水位予測精度向上へ向けた状態把握技術の開発

【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料（12冊） 10,032円（税・送料込）

建設機械施工

第76巻第5号（2024年5月号）（通巻891号）

Vol.76 No.5 May 2024

2024（令和6）年5月20日印刷

2024（令和6）年5月25日発行（毎月1回25日発行）

編集兼発行人 金井道夫

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話（03）3433-1501；Fax（03）3432-0289；<https://jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154

電話（0545）35-0212

北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8

電話（011）231-4428

東北支 部 〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18

電話（022）222-3915

北陸支 部 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1

電話（025）280-0128

中部支 部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10

電話（052）962-2394

関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4

電話（06）6941-8845

中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22

電話（082）221-6841

四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22

電話（087）821-8074

九州支 部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30

電話（092）436-3322

本誌上への
広告は



有限会社 サンタナ アートワークスまでお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL：03-3664-0118 FAX：03-3664-0138

E-mail：san-mich@zam.att.ne.jp 担当：田中